

つたえる 一般質問 [Q & A]

問い) 先進国では、子どもや若者が政府や行政に対して、また地域の組織などのあらゆる場において発言し意思決定に参加する場や仕組みが構築されている。市政での取り組みを求める。

市長) 市政運営上意義ある提言だと思うので検討してみたい。

ひとこと 若者が政治や地域づくりなどに興味が無いということをよく聞きますが、これまでの行政や地域組織のあり方や物事を決める仕組みをみると、若い世代の声をくみ取ることには積極的ではありませんでした。若年層の社会化を促すためにも、地域の活力を生み出すためにも、そして地域の未来を守るためにも、あらゆる場において若い世代の声を聞く場をつくり、責任をもって意思決定に参加させる仕組みが必要です。

問い) 政治教育は生活教育である。多様な価値が渦巻く複雑な社会を「生き抜く力」をつけるために、政治教育を取り入れてキャリア教育の充実を図る考えはないか。

教育長) 世の中の仕組みと勤労を大きな柱に据えている。社会と政治を結びつける授業は重要であり、夢発見プログラムをさらに充実させたい。

ひとこと 世の中の仕組みを教えることは、社会を生きる上で非常に重要な観点です。政治や行政の仕組み・政策の中身とその意味・選挙で投票する候補の選び方・購入する商品が手元に並ぶまでの経緯や単価の内訳、税金の仕組み・・・など、社会人として必要な知識を詳しく教わることなく成人してしまっています。何も教わることなく、20歳になれば投票に行けと言われる・・・考えてみれば若者の投票率が低いのも当たり前ではないでしょうか？社会に無関心な世代をつくってきたこれまでの教育は見直されつつあり、雲南でも独自のキャリア教育が展開され始めていますが、さらなる充実を訴えました。

問い) 子どもたちの体力向上、心の健全、また地域と学校を結びつけ学校を拠点とした地域づくりにも大きな効果がある校庭・園庭の芝生化を行う考えはないか。



● 子ども議会
全国で広がりをもてる「子ども議会」の取り組み。
子ども議員達の提案は発想豊か！雲南市でも実施したいものです。市民である子ども達も参画できる地域を！



● 模擬選挙
マニフェストや選挙公報を比較し、その内容について議論し合い、投票の仕方も学び選挙を体験する模擬選挙。未成年の投票結果は？



● キャリア教育
郷土の仕事、そして働く「人」に直接触れるキャリア教育



教育部長) 管理や使用面での問題はありますが、市が進める学校支援地域本部事業の理念にも一致しており検討していきたい。

ひとこと 先進地では、子どもの心身の発育、運動機会の確保など、様々な好影響を生み出しています。また、管理運営を地域の方が行うことで学校と地域の距離が縮まり、子どもたちと地域の方の新たなコミュニティも形成されています。地域主導で取り組むところが出てくると、どんな変化が起きるのでしょうか。

問い) 今の選挙制度は、市民の生活実態をあまりに無視したものである。もっと市民にとって利便性の高い選挙制度としていくべきだが。

総務部長) 選挙公報・政見放送など、選挙に関わることは「公職選挙法」で規定されており、それに準じて市でも条例を制定している。

ひとこと 新政権は公職選挙法の見直しに積極的ですが、選挙のあり方も一から見直されなければなりません。自分の考えや政策を訴えようと思っても、その手段が認められていないのです。期間中は、選挙カーで騒音をまき散らすことしかできないのが現状。日本の選挙はその滑稽さが海外で取り上げられているのが現状。選挙公報の拡大や、ビラ配り、またケーブル TV を使った政見放送など独自の取り組みを求めました。全ての市民の多くが疑問を抱いている「選挙制度」が変えられないなんてことは許されません。選挙カーのきた回数、顔を知ってるから、頼まれたから・・・。多くの国で市民が血を流し、命をかけて勝ち取ってきた「権利」を、もう一度正しく機能させなければなりません。また、国内では市民団体の主催による公開討論会が広がりを見せています。その様子がケーブル TV で流されるなど、市民の手により、市民のための選挙が進みだしています。

問い) 選挙の公費負担を見直すべきでは。

総務部長) 合併間もない雲南市では、様々な施策に取り組んでおり今のところ公費負担に関する条例を見直す考えは無い。

ひとこと 雲南市は、選挙の公費負担がありません。市では県内唯一です。選挙公報とハガキ 2000 枚が与えられているだけです。若い世代、また志ある全ての方に立候補の機会を与えるためにも見直しが必要だと考えます。掲示板・投票所の数、期日前投票のあり方などを見直し、選挙事務の効率化を図ることも重要です。



● 芝生化
地域と一緒にやって行う学校の芝生化。松江市では市内全校で実施する事が決まりました。緑のじゅうたんに地域の笑顔！



● 公開討論会
市民によって開催される、地方選挙の公開討論会。首長、議員を選ぶ判断の材料としてもっと候補者の考え・思いに触れる機会が必要ではないでしょうか。



● 看板
看板そんなにいらいますか？投票所を減らし、移動投票所で機会が確保できたら？代表制民主主義にはお金がかかりますが、時代に合った選挙になっていかなければなりません。費用は全て税金です。